

3on3 Overtime Penalty System

公益財団法人日本アイスホッケー連盟
レフェリー委員長 黒津 昌風

延長開始前に科せられたペナルティ				
状況	第3ピリオド の時間	チームA	チームB	オペレーション
1	19:10	A5-2	B17-2	第3ピリオド終了時にペナルティ・クロックからペナルティ時間を削除し、チームは延長ピリオドを3対3で開始。ペナルティ終了後最初のプレー中断時に、ペナルティを科せられていたプレイヤーをペナルティ・ボックスから開放する。
2	19:10 19:50	A5-2 A7-2	B17-2	チームが4対3で延長ピリオドのプレーを開始。A5とB17のペナルティ時間をペナルティ・クロックより削除。A5とB17のペナルティ終了後最初のプレー中断時に、これらのプレイヤーをペナルティ・ボックスから解放する。
3	19:10 19:25 19:40	A5-2 A7-2	B17-2	チームAは3名のスケーター、チームBは4名のスケーターで延長ピリオドを開始。通常のペナルティ時間終了後、ペナルティを科せられていたプレイヤーは氷面に戻る。プレーを続ける際、氷上の人数が5対5になる可能性がある。しかしながら、氷上の人数は次のプレー中断時に必要に応じて調整する。
4	19:10 19:30 19:40	A5-2 A7-2	B17-2 B36-2	3対3のプレイヤー数で延長(ピリオド)を開始。A5とB17のペナルティがペナルティ・クロックから削除される。A5とB17のペナルティ終了後にプレーが中断された場合、これらプレイヤーをペナルティ・ボックスから開放する。A7とB36のペナルティ終了時に、氷上の人数は4対4になる。次のプレー中断時に、(氷上の人数は)3対3に調整される。
5	19:10 19:20 19:30 19:40	A5-2 A7-2	B17-2 B36-2	延長ピリオドを3対3で開始。通常のペナルティ時間終了時に、ペナルティを科せられていたプレイヤーは氷面に戻る。プレーを続ける際、氷上の人数が5対5となる可能性がある。しかしながら、氷上の人数は、次のプレー中断時、そのプレー中断時の状況に応じて、4対3又は3対3のいずれかに調整される。
※レギュレーションタイム終了時に同タイムでペナルティボックスに入っている両チームのプレイヤー・ペナルティタイムは、オーバータイム				
開始時には、メインクロックから削除され、ペナルティタイムが終了しゲームが止まった時点でリンクに戻る。(その後人数調整を行う)				
延長時に科せられたペナルティ				
延長 (OT) の時間	チームA	チームB	氷上の人数	
00:30	A23-2		チームA: スケーター3名	チームB: スケーター4名
01:00		B17-2	チームA: スケーター3名	チームB: スケーター3名
01:30	A7-2		チームA: スケーター3名	チームB: スケーター4名
<p>チームAに2つ目のマイナー・ペナルティが科せられた際、各チームは氷上のプレイヤーを1名ずつ増やさなければならない。</p> <p>A23のペナルティが終了した場合、氷上の人数は4対4に戻るが、その後のプレー中断時に氷上の人数は3対3に減らすよう調整しなければならない。しかしながら、B17のペナルティが終了した際にプレーが中断された(また、A7のペナルティ終了前であった)場合、氷上の人数は4対3に調整される。各チームのスケーターが再び5名になるまでプレー中断が無い場合、次のプレー中断時に氷上の人数は再び3対3に減らすよう調整される。</p>				